

自由民主党会派の紹介

凡例
氏名
県連の役職
選挙区/当選回数
議会運営委員
特別委員会の所属

総務企画委員会 総務部、企画振興部、あきた未来創造部、選挙管理委員会、人事委員会などで取り扱う事項				
 委員長 鈴木健太 青年局長 政務調査副会長 選挙対策局長 秋田市②	 副委員長 近藤健一郎 選挙対策局長 北秋田市北秋田郡④	 佐藤賢一郎 県議会副議長 組織副委員長 大館市④	 工藤嘉範 副幹事長 秋田市④ 議会運営委員長 政務活動費等検討会議委員	 住谷達 総務副会長 青年局長 湯沢市雄勝郡①
福祉環境委員会 健康福祉部、生活環境部で取り扱う事項				
 副委員長 杉本俊比古 広報委員長 政務調査副会長 男鹿市②	 柴田正敏 選挙対策副局長 横手市⑤ 予算特別委員長	 竹下博英 総務会長 秋田市④ 議会運営委員	 宇佐見康人 組織委員 青年局長 秋田市①	
農林水産委員会 農林水産部で取り扱う事項				
 委員長 佐藤信喜 政務調査副会長 選挙対策局長 青年局長 能代市山本郡②	 川口一 財務委員長 党紀委員 鹿角市鹿角郡⑥	 小松隆明 党紀委員 大仙市仙北郡④ 監査委員	 鈴木真実 女性局次長 広報委員 南秋田郡① 議会運営委員 政務活動費等検討会議委員	
産業観光委員会 観光文化スポーツ部、産業労働部で取り扱う事項				
 委員長 鈴木雄大 副幹事長 政務調査副会長 青年局長 湯上市②	 副委員長 原幸子 組織委員 女性局長 大仙市仙北郡④	 鈴木洋一 党紀委員長 会計監査 憲法改正推進副本部長 大館市⑧	 北林丈正 政務調査会長 北秋田市北秋田郡④ 議会運営委員 政務活動費等検討会議委員	
建設委員会 建設部、出納局、監査委員会、労働委員会で取り扱う事項				
 委員長 今川雄策 政務調査副会長 青年局長 秋田市② 議会運営委員	 加藤鉦一 県議会議長 党紀副委員長 由利本荘市④	 佐藤雄孝 幹事長 財務副委員長 仙北市④	 小山縁郎 財務委員 大仙市仙北市①	
教育公安委員会 教育委員会、公安委員会で取り扱う事項				
 委員長 高橋武浩 政務調査会長代理 能代市山本郡② 議会運営委員	 副委員長 佐々木雄太 青年部長 広報副委員長 にかほ市②	 北林康司 会計監査 党紀委員 秋田市⑨ 議会運営委員 政務活動費等検討会議議長	 鶴田有司 県連副会長 横手市⑦ ※会派会長	 児玉政明 組織委員 青年局長 鹿角市鹿角郡①

自由民主党 秋田県支部連合会

〒010-0951 秋田市山王四丁目6-12
電話 018-823-6377 FAX 018-865-1887
http://www.jimin-akita.jp/ E-メール info@jimin-akita.jp

Link 県民と自由民主党会派をつなぐ
発行/令和元年9月20日
ご質問、ご意見をお聞かせください。
編集/秋田県議会自由民主党会派 政務調査会
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号[県議院内]
電話 018-860-2040 FAX 860-2102

県民と自由民主党会派をつなぐ

Link

令和の時代、希望に満ちた
秋田づくりを

2019.9 No.35



自由民主党会派 会長
鶴田 有司

日頃より秋田県議会自民党会派に対するご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

令和時代初の国政選挙の熱い戦いが終わり、わが自民党公認の中泉松司候補は残念な結果となりました。この選挙において支援して頂きました県民の皆様は心より御礼申し上げます。今般の選挙は政治の安定を確保し様々な改革をダイナミックに進めて行くための重要な戦いであり、また外交や経済で世界が翻弄される激動の時代にあって、日本と国民を守るためには「自由と民主主義」というしっかりとした哲学と「政治は国民のもの」という党是を持つわが党が勝たなければならない戦いでありました。

私たちは今回の選挙結果を真摯に受け止め、急速に進む人口減少と少子高齢化、激動する国際情勢など様々な課題が山積する中、県民の皆様は夢のある明るい未来をつくるためにこれからも全力で対処して参りますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

地方創生を力強く促進!

秋田県各地域の取り組みを県議会自民党会派は強力にバックアップしてまいります。最大の課題である人口減少に歯止めをかけるためにも、全県各地で着実に成果を積み重ねてまいります。



高性能林業機械で生産性向上(秋田)

受動喫煙防止に関する標語(平鹿)

1 鹿角地域

”八幡平ドラゴンアイ”を活かした観光誘客

国内外から注目される初夏の八幡平に現れる、神秘の竜の瞳「八幡平ドラゴンアイ」の情報発信により首都圏からの誘客を図ります。



「スキーと駅伝」で地域活性化



「スキーのまち 鹿角」。全国中学校スキー大会(H30)、インターハイ(H31)に続き、令和2年からインカレが3年連続開催されるほか、令和3年には冬季国体開催も予定されています。また、今年は「ふるさと秋田ラン」も開催されます。地域ぐるみのおもてなしで、大会を大いに盛り上げ、スポーツによるまちづくりと地域の活性化につなげていきます。

鹿角産食材のブランドアップ

「かづの北限の桃」をブランドアップするため、新規・女性栽培者の技術習得、関係団体と連携した栽培サポーターの育成を図り、生産拡大と品質向上を図ります。また、「かづの牛」の認知度向上及び消費拡大を図るため、GI登録に向けた取組や販売促進PR活動を展開し、地域一丸となった生産振興と地域ブランドの確立を目指します。



2 北秋田地域

大規模園芸団地を核にした地域連携型産地づくり

これまでの米内沢地区、大館地区に加え、新たに綴子地区で「にんにく」の大規模団地形成に向けた整備を推進(メガ団地等大規模園芸拠点整備事業、水田畑地化基盤整備等)するとともに、大規模園芸団地推進プロジェクトチーム(県・市・JA)と地域生産振興協議会(4生産法人等)が団地運営や生産拡大について総合的な支援を展開します。



県道大館能代空港西線「鷹巣西道路」の整備推進

高規格幹線道路網の一翼を担う道路として、平成24年度に新規事業化された「鷹巣西道路」について、国が事業を進めている鷹巣大館道路への接続区間と合わせ、2020年度(令和2年度)までの開通を目指します。



「北秋田発・地域で取り組む健康づくり」事業

当地域は、県内で最も高齢化が進んでおり、要介護状態への要因を減らすためにも、生活習慣病の予防が喫緊の課題です。また、心疾患による死亡率が県平均を上回り、肥満者・メタボリックシンドローム予備群の割合も高く、生活習慣や食生活の改善が必要な状況です。しかし、特に働き盛り世代は時間的余裕が無く、十分に健康づくりに取り組めていないのが現状です。このため、食生活改善推進員との連携した食生活改善の取組と合わせ、市村の禁煙や運動習慣などの取組と連携しながら、働き盛り世代を対象とした健康づくりを推進します。



3 山本地域

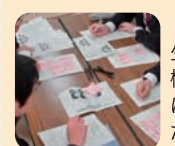
あきた白神の恵みを活かした着地型観光の推進

現在実施している大手アウトドア店との連携による、首都圏での登山・トレッキング愛好者へのプロモーションに加え、JR東日本と青森県との共同による「ブナの学校運営協議会」を組織し、JR東日本の旅行倶楽部会員を対象にした首都圏PRイベントの実施やブナの学校の現地プログラムを拡充して、あきた白神地域への誘客を図ります。



地域の障害者支援体制強化事業

高齢化が進む当地域において、障害者が「親戚きあと」も地域で生活を維持できるよう、障害福祉サービス等の利用手続きや関係機関の役割を分かりやすく示したリーフレットの作成等により周知に努めるとともに、関係機関の円滑な連携体制の構築を目的としたワークショップの開催等により、機関相互の関係強化を図ります。



ねぎ産地拡大への支援

管内のねぎは平成30年度に販売額17億円を突破しており、さらなる産地拡大を図るため、新たな大規模園芸拠点の掘り起こし活動や既整備団地のフォローアップ活動、労働力確保対策などを関係機関と連携しながら推進します。さらに、農地中間管理事業を活用した「あきた型ほ場整備」を推進し、メガ団地等の面的条件整備を強力に進めます。



4 秋田地域

官民連携による人材確保推進プロジェクト

若者の県内就職・定着を図るためには、企業側にも若者にとって魅力ある存在になる努力が求められます。地元企業の経営者が、人材確保に向けて「採用力を高め」、「離職率の低下」を目指して、経営者の協調行動を図る場として「秋田県の人材を育てるために行動する社長会議(通称:社長会議)」を開催します。



健康寿命日本一に向けた取組の推進

現役世代から組織的に健康づくりを行うため、事業所の管理者・経営者等を対象とした「健康経営」の概念を普及するセミナーを開催し、現役世代からの組織的な健康づくりを進めます。また、熟年世代の体力向上や筋力アップに取り組むとともに、健康増進に一定の効果が認められている「インターバル速歩」のインストラクターを養成して、地域住民の健康づくりを推進します。

大規模園芸拠点の育成による複合作目の生産拡大

基盤整備事業を契機として地域の担い手となる法人化を推進するとともに、ネギ、エダマメ、ダリアなどの園芸品目の大規模な経営を実現するため、園芸施設や機械装備の整備を支援します。



- 整備済み団地**
秋田市雄和地区メガ団地(ダリア、ネギ、エダマメ)
 - 整備中の団地**
男鹿市五里合ネットワーク団地(2法人、ネギ)
- ※この他に計画中の拠点や推進中の地域が複数ある。

5 由利地域

農地集積加速化基盤整備事業

秋田型ほ場整備として、農地の整備及び農業生産法人等へ農地の集積を行い、田畑複合経営による高生産低コスト農業経営の確立を図ります。(にかほ市畑地区受益面積124.3ha)



酪農経営確立支援事業



酪農経営の体質強化と生乳生産の拡大を図るため、施設整備による規模拡大を支援します。(75頭→170頭) また、豊富な草資源を行かした経営を図り、隣接する加工施設等と連携を図りながら、チーズ生産にも取り組めます。(由利本荘市矢島地区ほか)

幹線道路の整備

物流の円滑化や観光振興を図るため、国道等の整備を実施します。
・国道108号 矢ノ本工区(由利本荘市鳥海町下川内)ほか



6 仙北地域

災害に備えた強靱な県土づくり

平成29年7月、8月の豪雨により洪水被害が発生した河川の早期復旧と再度の被災を防止のための対策工事を引き続き進めます。

- 淀川**(大仙市協和) 全体事業費: 約76億円 事業期間: 平成29年度～令和2年度
- 土質川**(大仙市西仙北) 全体事業費: 約87億円 事業期間: 平成29年度～令和元年度
- 檜岡川**(大仙市南外) 全体事業費: 約76億円(単分含む) 事業期間: 平成29年度～令和3年度

高校、経済団体、行政の連携による高卒者の地元就職促進

秋田労働局発表によれば、当地域における今春の高校卒業者の県内就職率は73.7%で、県全体の67.4%(平成31年3月末現在)を大きく上回っているものの、就職希望の高校生の減少に伴い、高校生の採用を計画しながら、採用数を確保できない企業も多く存在し課題となっています。このような状況を踏まえ、関係者が一堂に会する「高校・経済団体・行政交流会」を開催し、来春の高卒予定者の地元就職促進に取り組めます。

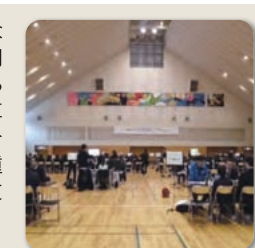
働き盛り世代のメタボ対策

当管内では、生活習慣病の要因であるメタボリックシンドローム該当者が県平均を上回る状況が続いています。特に働き盛り世代に関するこうした状況を改善するため、①関係者との連絡会議の開催による情報共有と課題の抽出、関係機関の役割分担や目標の明確化を図るとともに、②管内の事業所で社員向けのメタボ教室を開催して周知に努め、職域へ、そして地域への波及を図ります。

7 平鹿地域

定住促進に向けた地元産業の魅力アピール

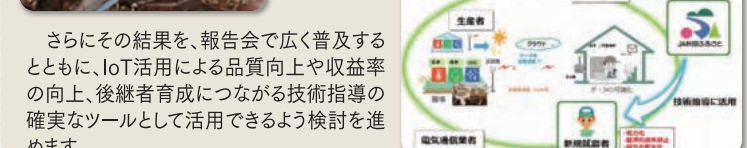
学生(中学生、高校生、大学生)、教員などを対象に多様なニーズに応じた企業説明会や企業見学会を開催し、管内に集積する革新的な新技術に取り組む企業や自動車関連をはじめとするものづくり企業の魅力を発信するとともに、建設や福祉・医療、各種サービスなど地域の基盤と安全安心な住民生活を支える仕事のやりがい、地元で働くメリットをアピールし、若者の定住促進と将来を担う人材確保を図ります。



IoTを活用した次世代農林水産業の推進



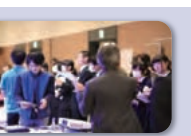
横手市、JA、生産者、研究機関等と連携し、生産施設(パイプハウス)内に温度等感知センサーを設置し、環境情報(温度、湿度等)の収集、データの可視化・蓄積・解析を進めるとともに、離れた場所にいる生産者がスマホを使ってデータチェックすることや、異常時は警報メールを受信するなど、生産者がIoTを体験できる試験を実施します。



8 雄勝地域

湯沢雄勝の“ステキ”を再発見

当管内の中高生を対象に地元企業の博覧会を開催し、進路選択に役立つ情報収集等の機会を提供することにより、若者の将来の地元定着支援を目指します。



建設産業人材の確保・育成

建設産業の担い手確保は全県共通の課題となっており、建設産業担い手確保育成センターや建設業協会が高校生を対象とした講習会や現場見学会等を行っています。当振興局では、小学校を対象とした建設作業体験学習会を行い、低学年から建設業の魅力を抱いていただけるよう取り組みます。

農地中間管理機構関連ほ場整備事業

農地中間管理機構と連携したほ場整備事業「関口地区」において、水田の整備・集約化と併せ、地域特産であるセリの生産団地化やネギ、さくらんぼなどの高収益作物の生産拡大を推進します。



※記載の事業は、各振興局の主要事業からピックアップしたものです。